



もしもの時に備えることが大切です。

防災準備



いますぐできること

・非常持ち出し袋に おうちの子のグッズも加える

チェックリストを参考に、おうちの子に合わせた準備をしておきましょう！

・迷子札を作っておく

マイクロチップの装着・登録番号を控えておくだけでなく、すぐに確認ができるように身に付けるものにも迷子札を着けておきましょう。



病院で相談すること

・おうちの子の健康状態を 把握しておく

災害時はすぐに病院に行けないこともあるため、おうちの子の体調を日頃から知っておくともしもの時も異変に早く気づけます。定期的に健康チェックを受けたり、持病やお薬のことを病院で相談しておきましょう。避難先での感染症を防ぐため、日ごろからワクチン接種やフィラリア症予防、ノミ・マダニ対策を続けておくことが大切です。



練習しておくこと

・いろいろなもの・音に慣れる ・呼び戻しの練習をする ・クレート(キャリー)や トイレのトレーニングをする

いざという時に落ち着いて過ごせるよう普段から人や音、他のわんちゃんに少しずつ慣れておきましょう。クレートで安心して休んだり、シートで排泄できるようにしておくと、避難先でのストレスを軽減できます。ドッグトレーナーに相談すれば、さらに安心です。



確認しておくこと

・ハザードマップを確認する

ハザードマップで避難場所を確認しておきましょう。ペットとの同行避難に対応しているかどうかをあわせて調べておくことをおすすめします。

・一時的な預け先を決めておく

避難が難しいときやどうしても離れなければならないときに備えて、預けられる家族や友人、ペットホテルなどを決めておくことが大切です。

ペットと一緒に避難準備チェックリスト



☐ ペットフード

環境が変わるときこそ、いつものごはんを。不安やストレスで食欲が低下する子も多いので、缶詰があると便利です。5日以上準備しておきましょう。

☐ ペットのお水

人用の水はミネラルが多く、ペットさんにはあまりおすすめできません。ペットさんと人の両方に対応しているお水がおすすめです。

☐ 食器・給水器

いざというときに使用するものは、割れにくく・軽くて持ち運びやすいものがベストです。

☐ 移動用キャリー

硬い素材が落下物の危険から守ってくれるのでおすすめです。安心できるハウスとしても重要。

☐ 首輪とリード

慌てて抱っこして避難すると忘れがち。パニックになったときに逃げてしまう原因にもなるため、どちらも準備しましょう。

☐ 迷子札

災害時は、迷子になる危険がいっぱいです。事前に用意し、いつも身につけておきましょう。おうちに帰れる確率がグッとアップします。

☐ ペットの写真

家族と一緒に写っているものを用意しましょう。

☐ ペットシート

避難所ではオムツ代わりにも使えていろいろと便利です。ガムテープも一緒に用意して緊急時のマナーベルトにも。

☐ 消臭剤・袋

避難所などの不特定多数の人が集まるところでは、迷惑になることのないよう特にマナーが必要です。うんち袋も多めに用意しましょう。

☐ ウェットティッシュ

アルコール成分の入っていないペット用を準備しましょう。人も兼用できます。

☐ シャンプータオル

お水を使えない状況でも身体を清潔に保てるので、準備しておくとう便利です。

☐ 毛布・洋服

寒さ対策にもケガ対策にも有効です。毛布は各サイズ用意しておく、ペットさんも人も便利。

☐ 持病・服薬情報

すぐにいつもの動物病院に行けない場合もあります。診断名や経過、お薬の記録があると安心です。

☐ 救急箱・常備薬

包帯・カット綿・ピンセット・ハサミ・綿棒・ガーゼ・常備薬・整腸剤・下痢止め(動物用)など